

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表： 令和 8年 3月 30日

事業所名 ピリーブネスト 保護者等数(児童数) 15 回収数 15 割合 100%

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15						
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1					
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	2		2			
	適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	15					
		5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	13			2	・いろいろな活動があって、子どもが楽しみにしている	
		6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	2	1	8		
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15						
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15						
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15						
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	3		1	・保護者会が行われているのは知っている		
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15						
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15						
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15				・こまめにSNSやHPを更新していてすごいと思う。		
	14	個人情報に十分注意しているか	14	1					
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	3		5			
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	3		4			
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	13	2			・兄弟や近所に友達もいないので楽しんでいと思う		
	18	事業所の支援に満足しているか	15						

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和 8年 3月 31日

事業所名 ビリーブネクスト

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点	改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			
	2	職員の配置数は適切である	4			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす仕様車の導入</li> <li>・バリアフリートイレ設置済み</li> </ul>
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4		・社長を中心に職員会等で共有している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4		・保護者の方へのアンケートをうまく活用できていると思う	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		・オンラインで外部の研修も受けられる	・外部研修を生かした社内伝達研修の実施
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	・個々のレベルの合わせて参加できる工夫を話し合っている	・全職員がどの活動でも担当できるよう体制を整えていきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		・都度子どもの情報を共有し、何が課題かを考えることができていると思う	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	・ICT化し、いつでもどこでも情報共有できる環境である	・職員間で支援方針の共通理解を図り、活動構成にばらつきが出ないよう標準化を進めていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・送迎後に職員間で必ず話を共有するようにしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・担当職員をあらかじめ決めて記録を取り、他の職員の記録の確認もできていると思う	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		・児発管を中心に行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4				
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		・送迎の際、学校の先生との情報共有が有効にできていると思う	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	4		・医療機関や主治医をあらかじめ聞き取りし、対応ができるようになっていると思う	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前に利用していた保育園・幼稚園・認定こども園・児童発達支援事業所との情報共有体制を整え、入所時および必要時に継続的な連携が図れる仕組みを構築できるよう努めてまいります。</li> <li>・子どもたちの支援が切れ目なく継続できるよう、関係機関との相互理解を深める機会を定期的に設けていきます。</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の所、放デイから障害福祉サービスへ移行した利用者がいない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害福祉サービスへの移行を必要とする利用者が出てきた場合には、相談支援事業所等とも連携し、スムーズな移行ができるよう協力していく準備はある。</li> </ul>
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の子どもの関わりはある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりを広げ、障がいのない子どもと自然に交流できる機会を計画的に確保できる体制を整えていきます。</li> </ul>
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自立支援協議会等へ計画的かつ継続的に参加し、地域課題や支援情報を共有するとともに、事業所としての役割を主体的に果たせる体制を整えます。</li> </ul>
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に保護者と話す機会を作っている</li> </ul>	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時やモニタリングの機会を活用し、日常の困りごとや関わり方についての相談に応じるとともに、子どもの状況に応じた具体的な助言を適宜行い、保護者の対応力向上を支援しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の対応力向上を目的としたペアレント・トレーニング等の支援を計画的に実施し、家庭での関わりに活かせる具体的な助言や学びの機会を継続的に提供できる体制を整えます。</li> </ul>
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会を実施し、保護者間や岐阜市長との交流ができる機会を設けている</li> </ul>	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・迅速に管理者・社長への報告を行うようになっている</li> </ul>	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSの活用や、LINEでの直接的やり取り・写真の共有</li> </ul>	
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・上長への相談</li> </ul>	
非常時	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズを把握しながら、地域住民が参加できる行事や交流の機会を検討・実施し、地域に開かれた事業運営を段階的に進めていきます。</li> </ul>
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルの内容を保護者へ分かりやすく周知する機会を設け、配布や説明の方法を見直すことで、全保護者に確実に伝わる体制を整えます。</li> <li>・定期的に周知状況を確認し、継続的に情報提供を行います。</li> </ul>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施時、車いすや介助の必要な子どもがいる場合の訓練も必要</li> </ul>	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			

等 の 対 応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では身体拘束を必要とする子どもはいませんが、今後該当するケースが生じた場合に備え、身体拘束に関する判断基準や手続きの流れをあらかじめ整理し、組織的に対応できる体制を整えます。</li> <li>・実施が必要となった際には、事前に子どもおよび保護者へ十分な説明を行い、理解と同意を得たうえで放課後等デイサービス計画へ適切に記載し、慎重かつ適正に対応します。</li> </ul>
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		・アレルギー除去についての掲示	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			